

2020 ジャパンパラ要項
14 参加資格・制限【別表】案

日本身体障がい者水泳連盟（以下「身水連」）登録者

- 1 身体障害者手帳を所持している者
- 2 2019年度身水連に選手登録をしている者（2020年度の登録必須）
- 3 次の競技会のいずれかにおいて、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」（以下「標準記録」）に示す標準記録に達している者
 - ・2019年度： 第29回東北身体障がい者水泳選手権大会
 - 第33回関東身体障がい者水泳選手権大会
 - 第26回中部障がい者水泳選手権大会
 - 第30回近畿身体障がい者水泳選手権大会
 - 第25回中国四国身体障害者水泳選手権大会
 - 第30回九州障がい者水泳選手権大会
 - 2019 ジャパンパラ水泳競技大会
 - 第36回日本パラ水泳選手権大会
 - 2020 パラ水泳春季記録会
 - 2019年4月1日以降に開催されたWPS公認大会
- 4 聴覚障がい者を除き、WPSの規則に基づくクラス分けが済まされ、「C」、「R西暦」、「R」、「J」、「JR西暦」、「JR」のステイタスであること。
- 5 別紙標準記録を達成していない19歳以下（大会第1日目現在の年齢）で第36回日本パラ水泳選手権の標準記録を達成している選手（4記載のステイタスであること）は、50m自由形（予選）のみオープン参加することができる。（ただし決勝には出場できない。記録証は発行する。）
- 6 オープン参加の選手を除き、標準記録を1種目以上達成している選手は、5種目まで出場できる。WPSライセンス登録者で、標準記録を1種目以上達成している選手は、7種目まで出場できる。ただし標準記録を達成していない種目に参加する場合は、その種目の標準記録相当のタイムで泳がなければならない。なお、傷病または不測の事態等の正当な理由がなく棄権することは認められない。
- 7 身水連から推薦を受け、主催者が認めた者

以上